

令和3年度

全国学力・学習状況調査 壬生町全体の調査結果

I 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのよう取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

II 調査の対象とする学校及び児童生徒

- 壬生町立小学校 第6学年児童
- 壬生町立中学校 第3学年生徒

III 調査実施日 令和3年5月27日（木）

IV 調査対象学年及び調査事項

- 小学校 第6学年 「国語」「算数」「学習状況」
- 中学校 第3学年 「国語」「数学」「学習状況」

V 調査内容

○教科

身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容

○質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

VI 学年・教科ごとの調査実施児童生徒数

	国語	算数・数学
小学校第6学年	339人	339人
中学校第3学年	337人	337人

VII 本調査の実施に関する壬生町教育委員会の考え方

- 1 本調査は、各学校が児童生徒の学力・学習状況を的確に把握し、指導方法の工夫改善に役立てるために積極的に活用を行う。
- 2 本調査は学校間、児童生徒個人の序列化や比較を行うものではない。
- 3 壬生町教育委員会は、文部科学省の方針にしたがい、本町及び全小中学校の結果を一括公表することは行わない。

Ⅷ 全国学力調査 壬生町全体の調査結果の概要

○小学校の状況

【国語】

壬生町全体の結果は、国の結果とほぼ同じ状況である。学習指導要領の内容思考力・判断力・表現力等のうち、「書くこと」について、考えの形成・記述が優れている。また、知識及び技能のうち、「言葉の特徴や使い方に関する事項」について、文や文章の力が優れている。

【算数】

壬生町全体の結果は、国の結果よりやや高い状況である。学習指導要領の領域「データの活用」について、数学的な考え方が優れている。

○中学校の状況

【国語】

壬生町全体の結果は、国の結果とほぼ同じ状況である。学習指導要領の領域「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」について、話し言葉と書き言葉が優れている。

【数学】

壬生町全体の結果は、国の結果よりやや高い状況である。学習指導要領の領域「数と式」「図形」について、数学的な考え方が優れている。

Ⅸ 学力調査結果の分析と指導の改善策

○小学校

【国語】

学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。
(設問番号3三(2)イ)

漢字の学習指導に当たっては、日常生活の中で適切に使うことができるようにすることが重要である。そのためには、読み方や字形に注意して繰り返し練習することにとどまらず、本設問のように、自分が書いた文章を読み返す中で、正しい使い方を習得できるようにすることが大切である。また、必要に応じて、漢字を使って、文や文章を書くという機会を設定することも大切である。

文の中における修飾と被修飾との関係を捉えることができるかどうかをみる。
(設問番号3三(2)オ)

修飾と被修飾との関係に気を付けて、文の構成を理解することは、自分の思いや考えをより適切に表現する上で重要であることに気付くことができるようにすることが大切である。本設問では、「すぐに」が「かたづける」という動きを表す語句を詳しくしていることを捉えることが求められる。

【算数】

二つの道のりの差を求めるために必要な数値を選び、その求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる。 (設問番号1 (1))

日常生活の問題を解決するために、必要な数値を選び、具体的な場面に対応させながら、読み取った数値を適切に用いて式に表すことができるようにすることが重要である。指導に当たっては、例えば、本設問を用いて、道のりを求める式を立てた後に、必要な数値が全て含まれているかどうかを、具体的な場面に対応させて確認する活動が考えられる。

速さを求める除法の式と商の意味を理解しているかどうかをみる。 (設問番号1 (3))

どちらが速いかを比べる際には、単位量を道のり又は時間で比べる場合があり、どちらを単位量として設定しているかについて考え、速さを求める除法の式と商の意味を理解できるようにすることが重要である。指導に当たっては、例えば、本設問を用いて、1600mを20等分することや、500mを7等分することについて、下のような図を用いるなどして、1分間あたりに進む道のりを求めていることを確かめる活動が考えられる。その際、式の中の数と、表の中の数値を対応させることで、 $1600 \div 20$ を(道のり) \div (時間)と捉え、1分間あたりに進む道のりを求めていることを理解できるようにすることが大切である。また、 $20 \div 1600$ という式は、1mあたりにかかる時間を求めていることを理解できるようにすることも大切である。

三角形の面積の求め方について理解しているかどうかをみる。 (設問番号2 (1))

図形の面積の学習では、公式を導き出す過程において、図形のどこの長さに着目すると、面積を求めることができるのかを理解できるようにすることが重要である。また、公式を用いて面積を求める際には、底辺と高さの関係を理解し、必要な情報を選び出すことができるようにすることも重要である。

○中学校

【国語】

話合いの話題や方向を捉えて、話す内容を考えることができるかどうかをみる。 (設問番号1三)

話題や展開を捉えながら話し合うためには、何についてどのような目的で話し合っているかといった、目指している到達点を常に意識するように指導することが大切である。その際、多くの発言によって考えを広げていく段階や、出された発言の内容を整理しながら考えをまとめる段階など、話合いにおけるいずれの段階においても、話題を意識しながらその経過を捉えて話したり聞いたりするように指導することが重要である。また、このような展開を司会だけではなく、他の参加者が促すことができるように指導するこ

とも重要である。

書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書くことができるかどうかをみる。(設問番号2一)

目的や意図に応じて、読みやすく分かりやすい文章にするためには、読み手の立場に立って文章を整えるように指導する必要がある。その際、表記や語句の用法、叙述の仕方、表現の効果などを確かめるように指導することが大切である。

文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。(設問番号3四)

文学的な文章を読んで自分の考えをもつためには、「構造と内容の把握」や「精査・解釈」の学習過程を通して理解したことを他者に説明したり、他者の考えやその根拠などを知ったりするように指導する必要がある。その上で、改めて自分が文章をどのように捉えて精査・解釈したのかを振り返ることで自分の考えを確かなものにするように指導することが大切である。

【数学】

データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる。(設問番号8(3))

データの分布の様子を捉える場面を設定し、データの傾向を的確に捉えて判断できるように指導することが大切である。本設問を使って授業を行う際には、「日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にあるかどうか」について、データの分布の比較から検討し、判断する場面を設定することが考えられる。その際、作った二つの度数分布多角形の形や位置関係に着目して、二つの度数分布多角形における分布の特徴について話し合うことが考えられる。その上で、見いだした分布の特徴から結論をいうためにふさわしい根拠となるものを取り上げ、判断したこととその理由について説明する活動を取り入れることが考えられる。

ある条件の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見だし、それを数学的に表現することができるかどうかをみる。(設問番号9(3))

条件を保ったまま動かした図形を観察し、辺や角について変わらない性質を見いだす活動を取り入れ、ある条件の下でいつでも成り立つ性質や関係を捉え、それを数学的に表現することができるように指導することが大切である。本設問を使って授業を行う際には、動かす三角形を $\triangle DEF$ から $\triangle GHI$ に変えて、同じ条件で $\triangle GHI$ を動かして観察することを通して、辺や角についての性質を見だし、それを数学的に表現する場面を設定することが考えられる。その際、 $\angle ARG$ と $\angle ASG$ について見いだした性質を共有した上で、さらにいえることはないか考えたり、見いだした性質を関連付けて考えたりする活動を取り入れることが大切である。

X 全国学習状況調査 壬生町全体の調査結果の概要

「学習状況調査」については、全国の平均と比較して、壬生町の児童生徒が優れていると思われる項目を○、今後の指導・改善が必要であると思われる項目を▲で示した。

【小学校】

- 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。
- 毎日、同じくらいの時刻に起きている。
- 自分には、よいところがある。
- 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている。
- 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。
- 人が困っているときは、進んで助けている。
- 学校に行くのは楽しい。
- 友達と協力することは楽しい。
- 今住んでいる地域の行事に参加している。
- 5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。
- 5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行っていた。
- 5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた。
- 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができている。
- 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。
- 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思う。
- 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思う。
- 国語・算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。
- 算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える。
- 5年生までに受けた英語の授業では、英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができた。
- 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていた。

【中学校】

- 毎日、同じくらいの時刻に起きている。
- 将来の夢や目標を持っている。
- 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている。

- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。
- 学校に行くのは楽しいと思う。
- 自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができる。
- あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。
- 国語の勉強は好き
- 国語の勉強は大切だと思う。
- 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。
- 数学の授業の内容はよく分かる。
- 数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている。
- 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていた。
- ▲ 英語の勉強は好き
- ▲ 解答時間は十分だった（国語・数学）